

# 5章 三角形と四角形 5-3 平行四辺形

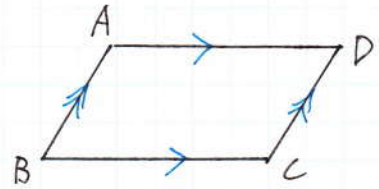
数2-5-3(1)

四角形の向かい合う辺を**対辺**, 向かい合う角を**対角**という。

## 平行四辺形の定義

2組の対辺がそれぞれ平行な四角形

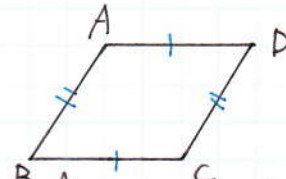
$$AB \parallel CD, AD \parallel BC$$



## 平行四辺形の性質

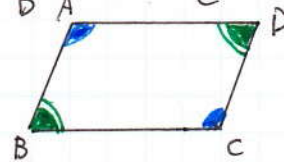
定理 ① 2組の対辺はそれぞれ等しい

$$AB = CD, AD = BC$$



② 2組の対角はそれぞれ等しい

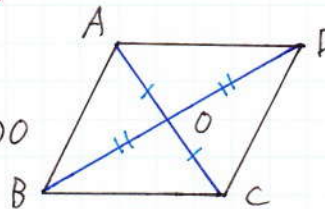
$$\angle A = \angle C, \angle B = \angle D$$



③ 対角線はそれぞれの

中点で交わる

$$AO = CO, BO = DO$$



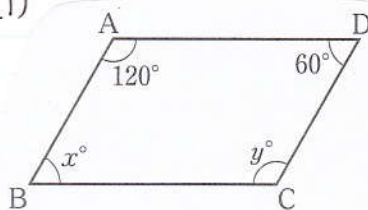
数2-5-3(2)



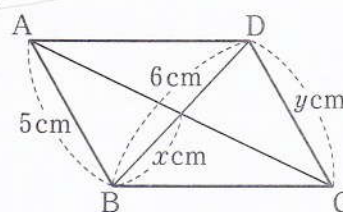
下の(1), (2)の  $\square ABCD$  で,  $x, y$  の値を求めなさい。また, そのときに使った平行四辺形の性質をいいなさい。

平行四辺形  $ABCD$  を  $\square ABCD$  と表すことがあります

(1)



(2)



# 5章 三角形と四角形 5-3 平行四辺形

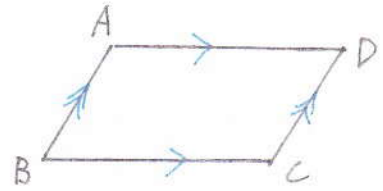
数2-5-3(1)

四角形の向かい合う辺を対辺, 向かい合う角を対角という。

## 平行四辺形の定義

2組の対辺がそれぞれ平行な四角形

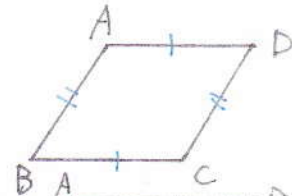
$$AB \parallel CD, AD \parallel BC$$



## 平行四辺形の性質

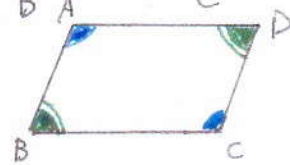
定理 ① 2組の対辺はそれぞれ等しい

$$AB = CD, AD = BC$$



② 2組の対角はそれぞれ等しい

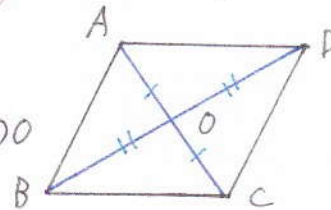
$$\angle A = \angle C, \angle B = \angle D$$



③ 対角線はそれぞれの

中点で交わる

$$AO = CO, BO = DO$$



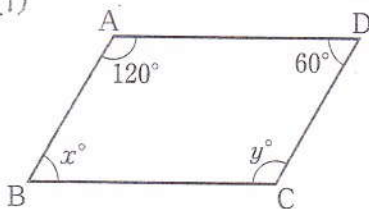
数2-5-3(2)

1

下の(1), (2)の  $\square ABCD$  で,  $x, y$  の値を求めなさい。また, そのときに使った平行四辺形の性質をいいなさい。

平行四辺形  $ABCD$  を  $\square ABCD$  と表すことがあります

(1)

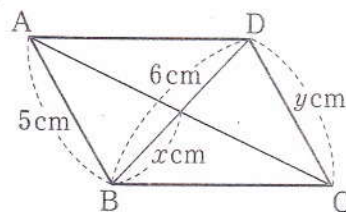


$$\angle x = 60^\circ$$

$$\angle y = 120^\circ$$

対角は等しい

(2)



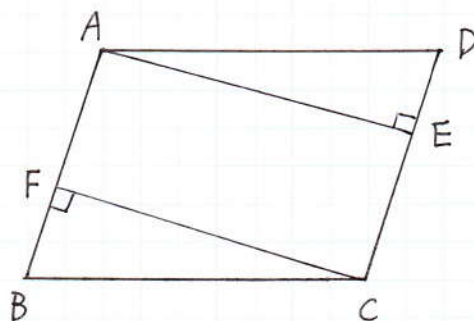
$$x = 3 \text{ cm}$$

対角線は中点で交わる

$$y = 5 \text{ cm}$$

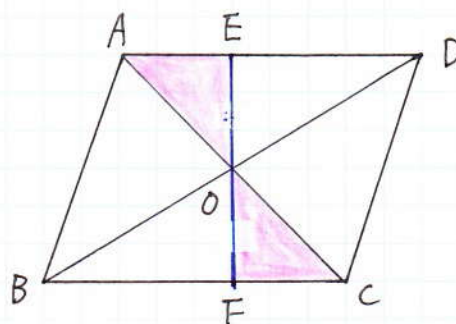
対辺は等しい

2 右の図の  $\square ABCD$  で、点  $A, C$  から  
 辺  $CD, AB$  上に垂線  $AE, CF$  をひきます。  
 このとき、 $AE = CF$  となることを  
 証明しなさい。

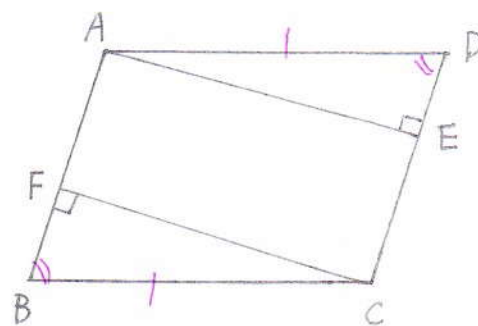


直角三角形の合同条件  
 を使うよ!

3  $\square ABCD$  の対角線の交点を  $O$  とし、  
 $O$  を通る直線が  $AD, BC$  と交わる点を  
 $E, F$  とすると、 $OE = OF$  となります。  
 このことを証明しなさい。



2 右の図の  $\square ABCD$  で、点  $A, C$  から  
 辺  $CD, AB$  上に垂線  $AE, CF$  をひきます。  
 このとき、 $AE = CF$  となることを  
 証明しなさい。



直角三角形の合同条件  
 を使うよ!

$\triangle AED$  と  $\triangle CFB$  において

対辺は等しいので  $AD = CB$  --- ①

対角は等しいので  $\angle D = \angle B$  --- ②

仮定より  $\angle AED = \angle CFB = 90^\circ$  --- ③

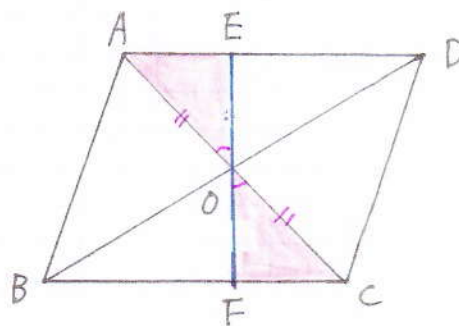
①, ②, ③より

直角三角形で、斜辺と1つの鋭角がそれぞれ等しいので

$$\triangle AED \equiv \triangle CFB$$

$$\text{よって } AE = CF$$

3  $\square ABCD$  の対角線の交点を  $O$  とし、  
 $O$  を通る直線が  $AD, BC$  と交わる点を  
 $E, F$  とすると、 $OE = OF$  となります。  
 このことを証明しなさい。



$\triangle AOE$  と  $\triangle COF$  において

対角線は中点で交わるので

$$AO = CO \quad \text{--- ①}$$

対頂角は等しいので

$$\angle AOE = \angle COF \quad \text{--- ②}$$

$AD \parallel BC$  より

$$\angle OAE = \angle OCF \quad \text{--- ③}$$

①, ②, ③より

1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しいので

$$\triangle AOE \equiv \triangle COF$$

$$\text{したがって } OE = OF$$

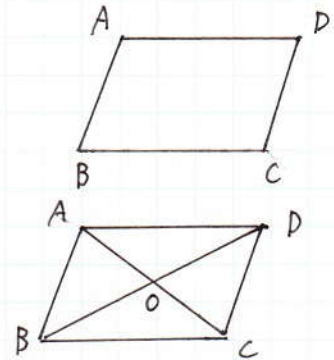
# 平行四辺形になるための条件

次のどれかが成り立てば、四角形は平行四辺形である。

- ① 2組の対辺がそれぞれ平行である。... 定義
- ② 2組の対辺がそれぞれ等しい。 ②~④は 平行四辺形の性質 (定理)
- ③ 2組の対角がそれぞれ等しい。
- ④ 対角線がそれぞれの中点で交わる。
- ⑤ 1組の対辺が平行で、その長さが等しい。 ←1つ追加がコソ!

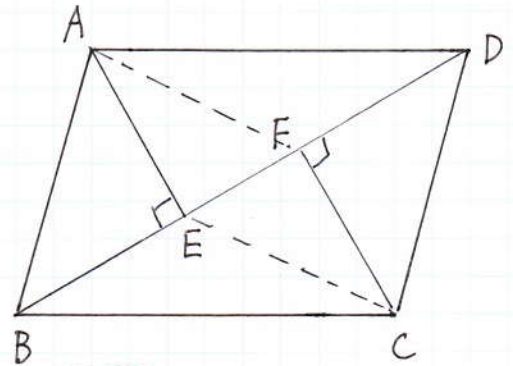
4 次の四角形ABCDで、いつでも平行四辺形になるものは、どれですか。(右図を利用しよう)

- ㊶  $AB = DC, AD = BC$     ㊶  $\angle A = \angle B, \angle C = \angle D$
- ㊷  $AO = CO, BO = DO$     ㊷  $AO = BO, CO = DO$
- ㊸  $AB \parallel DC, AD = BC$     ㊸  $AD \parallel BC, AD = BC$



5  $\square ABCD$  の頂点 A, C から対角線 BD に垂線 AE, CF をひくと、四角形 AECF は平行四辺形になります。

このことを証明しよう。



考え方

$AE = CF$   
 $AE \parallel CF$   
 を証明すればよい

# 平行四辺形になるための条件

次のどれかが成り立てば、四角形は平行四辺形である。

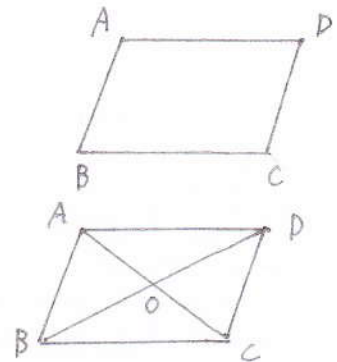
- ① 2組の対辺がそれぞれ平行である。... 定義
- ② 2組の対辺がそれぞれ等しい。
- ③ 2組の対角がそれぞれ等しい。
- ④ 対角線がそれぞれの中点で交わる。
- ⑤ 1組の対辺が平行で、その長さが等しい。

②~④は  
平行四辺形の性質  
(定理)

←1つ追加がコソ!

4 次の四角形ABCDで、いつでも平行四辺形になるものは、どれですか。(右図を利用しよう)

- ㉠  $AB = DC, AD = BC$     ㉡  $\angle A = \angle B, \angle C = \angle D$
- ㉢  $AO = CO, BO = DO$     ㉣  $AO = BO, CO = DO$
- ㉤  $AB \parallel DC, AD = BC$     ㉥  $AD \parallel BC, AD = BC$



㉠, ㉢, ㉤

5  $\square ABCD$  の頂点 A, C から対角線 BD に垂線 AE, CF をひくと、四角形 AECF は平行四辺形になります。

このことを証明しよう。

$\triangle ABE$  と  $\triangle CDF$  において

- $AB = DC$  (対辺) ... ㉠
- $\angle AEB = \angle CFD = 90^\circ$  ... ㉡
- $\angle ABE = \angle CDF$  (平行線に錯角) ... ㉢

㉠, ㉡, ㉢より

直角三角形で、斜辺と1つの鋭角がそれぞれ等しいから

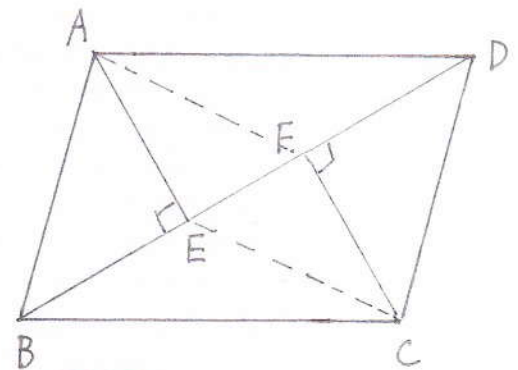
$\triangle ABE \cong \triangle CDF$

よって  $AE = CF$  ... ㉣

また  $\angle AEF = \angle CFE = 90^\circ$

錯角が等しいので  $AE \parallel CF$  ... ㉤

㉣, ㉤より 1組の対辺が平行で、その長さが等しいので、四角形 AECF は平行四辺形になります。



考え方

$AE = CF$

$AE \parallel CF$

を証明すればいい

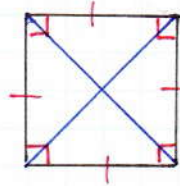
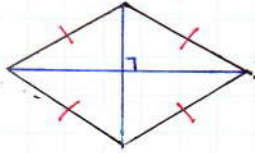
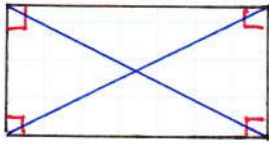
## 特別な平行四辺形

長方形, ひし形, 正方形は, 平行四辺形の特別な場合ですべて平行四辺形の性質をもっている。

長方形の定義 --- 4つの角がすべて直角である四角形

ひし形の定義 --- 4つの辺がすべて等しい四角形

正方形の定義 --- 4つの角がすべて直角で  
4つの辺がすべて等しい四角形

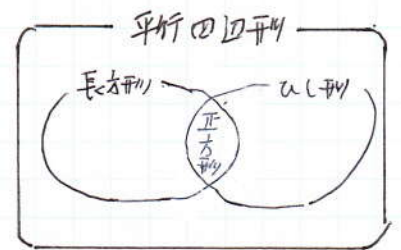


対角線の性質

長方形の対角線は等しい

ひし形の対角線は垂直に交わる

正方形の対角線は等しく, 垂直に交わる

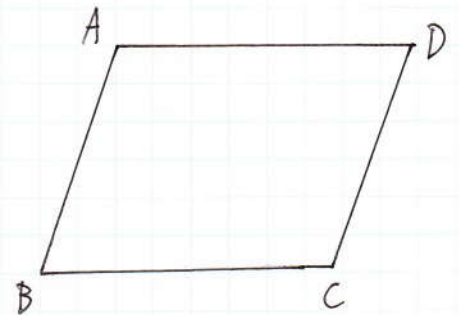


6 □ABCD に, 次の条件を加えると,  
どんな四角形になりますか。

(1)  $AB = BC$                       (2)  $\angle A = 90^\circ$

(3)  $AC = BD$                       (4)  $AB = BC, \angle A = \angle B$

(5)  $AC \perp BD$                       (5)  $AC = BD, AC \perp BD$



特別な平行四辺形

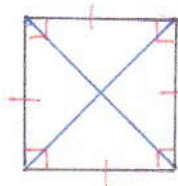
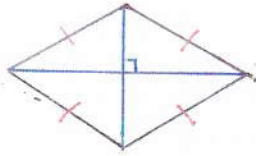
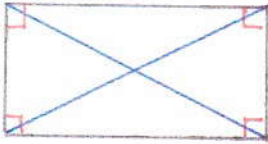
長方形, ひし形, 正方形は, 平行四辺形の特別な場合ですべて平行四辺形の性質をもっている。

長方形の定義 --- 4つの角がすべて直角である四角形

ひし形の定義 --- 4つの辺がすべて等しい四角形

正方形の定義 --- 4つの角がすべて直角で

4つの辺がすべて等しい四角形

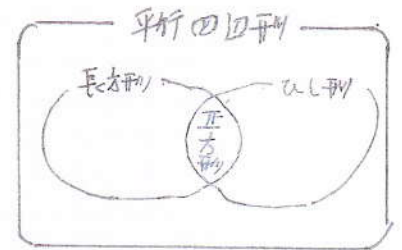


対角線の性質

長方形の対角線は 等しい

ひし形の対角線は 垂直に交わる

正方形の対角線は 等しく, 垂直に交わる



6  $\square ABCD$  に, 次の条件を加えると, どのような四角形になりますか。

(1)  $AB = BC$

ひし形

(2)  $\angle A = 90^\circ$

長方形

(3)  $AC = BD$

長方形

(4)  $AB = BC, \angle A = \angle B$

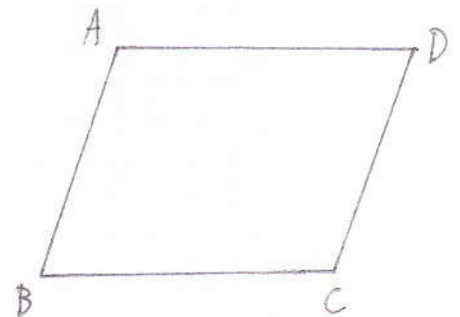
正方形

(5)  $AC \perp BD$

ひし形

(5)  $AC = BD, AC \perp BD$

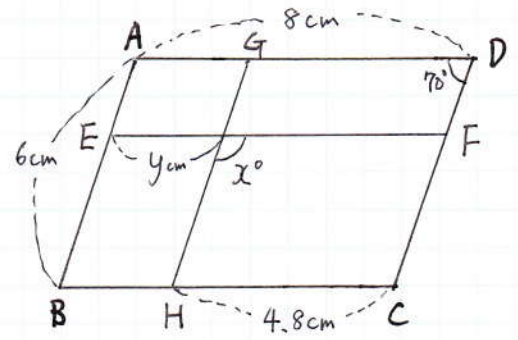
正方形



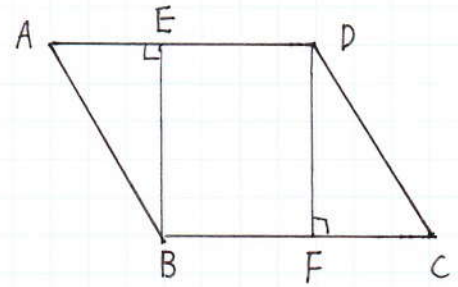


# 補充問題

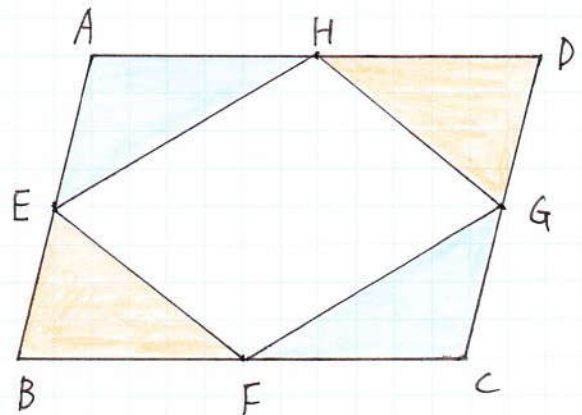
- 1 右の  $\square ABCD$  で、 $AB \parallel GH$ 、 $AD \parallel EF$  のとき、 $x$ 、 $y$  の値を求めなさい。



- 2  $\square ABCD$  の頂点  $B$ 、 $D$  から垂線  $BE$ 、 $DF$  をひくとき、 $AE = CF$  である。このことを証明しなさい。



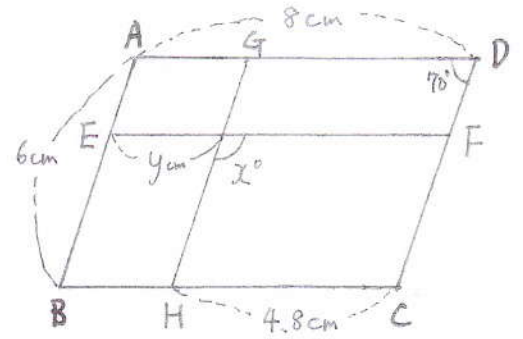
- 3  $\square ABCD$  において、各辺の中点をそれぞれ  $E$ 、 $F$ 、 $G$ 、 $H$  とするとき、四角形  $EFGH$  は平行四辺形になる。このことを証明しなさい。



# 補充問題

1 右の  $\square ABCD$  で、 $AB \parallel GH$ 、 $AD \parallel EF$  のとき、 $x$ 、 $y$  の値を求めなさい。

$x \dots 110^\circ$   
 $y \dots 3.2 \text{ cm}$



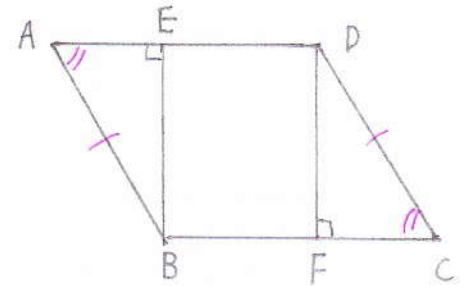
2  $\square ABCD$  の頂点  $B$ 、 $D$  から垂線  $BE$ 、 $DF$  をひくとき、 $AE = CF$  である。このことを証明しなさい。

$\triangle AEB$  と  $\triangle CFD$  において

$$\begin{cases} AB = CD \text{ (対辺)} \\ \angle A = \angle C \text{ (対角)} \\ \angle AEB = \angle CFD = 90^\circ \end{cases}$$

直角三角形で、斜辺と1つの鋭角がそれぞれ等しいので

$\triangle AEB \equiv \triangle CFD$   
 よって  $AE = CF$



3  $\square ABCD$  において、各辺の中点をそれぞれ  $E$ 、 $F$ 、 $G$ 、 $H$  とするとき、四角形  $EFGH$  は平行四辺形になる。

このことを証明しなさい。

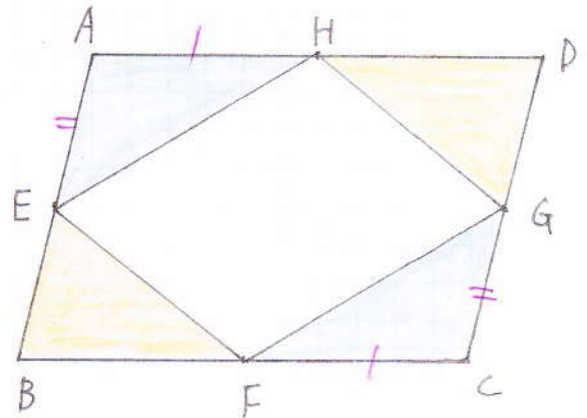
$\triangle AEH$  と  $\triangle CGF$  において

$$\begin{aligned} AD &= CB \text{ (対辺)} \dots \textcircled{1} \\ AH &= DH \text{ (仮定)} \dots \textcircled{2} \\ CF &= BF \text{ (仮定)} \dots \textcircled{3} \end{aligned}$$

$\textcircled{1}, \textcircled{2}, \textcircled{3}$  より  $AH = CF \dots \textcircled{4}$

また  $AB = CD \text{ (対辺)} \dots \textcircled{5}$   
 $AE = BE \dots \textcircled{6}$   
 $CG = DG \dots \textcircled{7}$

$\textcircled{5}, \textcircled{6}, \textcircled{7}$  より  $AE = CG \dots \textcircled{8}$   
 $\angle A = \angle C \text{ (対角)} \dots \textcircled{9}$



$\textcircled{4}, \textcircled{8}, \textcircled{9}$  より  
 2組の辺とその間の角がそれぞれ等しい  
 $\triangle AEH \equiv \triangle CGF$   
 よって  $EH = GF \dots \textcircled{10}$

同様に  $\triangle BFE \equiv \triangle DHG$  より  
 $EF = GH \dots \textcircled{11}$

$\textcircled{10}, \textcircled{11}$  より 四角形  $EFGH$  で  
 2組の対辺がそれぞれ等しいから  
 四角形  $EFGH$  は 平行四辺形 になる。